

★DV別居中でも遺族年金支給へ

ハーモニーでは遺族年金手続きを数多く(今年は40件以上)承っています。ご遺族様が時間のない中、ご自宅を訪問して対応し、感謝されています。

ご依頼の中には、ご遺族様が、配偶者のDV(ドメスティックバイオレンス)が酷いため別居を余儀なくされていたというケースがありますが、従来は遺族年金が支給されませんでした。

遺族年金は同居又は生計同一が要件なので、DVのせいとはいえ別居の場合、生計同一と認められにくいからです。不服申し立てをしても受給できず、子供の貧困を防ぐ観点からも、支給が求められていました。

多数の声を受け、この度厚生労働省は、日本年金機構に支給を認めるよう指示を出しました。

ハーモニーでも、不支給となっていた方に早速ご案内をする予定です。

★三菱電機新入社員自殺

三菱電機の新入社員だった男性が今年8月に自殺し、上司の男性社員を自殺教唆容疑で書類送検した。男性は7月から兵庫県尼崎市にある生産技術センターの教育主任から指導を受け、三田市の社員寮近くの公園で自殺した。

遺書には教育主任から「同じ質問をして答えられなかったら殺すからな」「お前が飛び降りるににちようどいい窓があるで。死んどいた方がいいんちゃう」と言う発言をされ、自殺する2日前に電話で「自殺しろ」と言ってきたことなどが書かれていた。遺族は労災申請や同社への損害賠償請求を検討している。

同社は、過去14年～17年に長時間労働などが原因で男性社員5人が精神障害を患い、相次ぎ労災認定され、うち2人が自殺し両親が損害賠償請求を求め訴訟を起こしている。

三菱電機の2018年の国際特許登録の出願件数はファーウェイに次いで世界2位だが、人口知能(AI)など最先端の技術開発を支える優秀な人材の確保に後れを取る恐れがある。

★運輸業界でも女性が働きやすく

海 七洋船舶管理では2020年2月に自社で育成した女性船員が初めて2人誕生。研修の乗船等を経て航海士に必要な「海技士」の免許取得ができる目途が立った。5年以内に女性だけで運航できるようにする。内航貨物船員は高齢化の進行により今後10年で航海士が半数になる。働き手の確保・増員の対策が急務だ。

陸 リムジンバスを運行する東京空港交通は、21年までに女性運転手を現在の約3倍の25人以上に増やす。担当するのは空港内の搭乗口から飛行機の間で乗客を輸送するバスで全体の2割を女性が担当することになる。女性の休憩室の設置や大型2種免許の取得費用の全額補助で人材確保を進める。

JRバス関東は毎年30人程度採用する運転手の内約1割を女性にする目標を掲げる。現状約700人の内女性は8人。運転手不足で今後の運行ダイヤの維持が難しくなる可能性があるため。

タクシー大手の日本交通は採用サイトに女性特設ページを刷新し、全庫への防犯カメラの設置などアピール、20年4月入社の内定者は女性が80人と全体の3割に達した。

空 JALのパイロット2,000人の内9人が女性。ANAのパイロット2,200人の内約20人が女性でその内2人が機長。ジェットスター・ジャパンはパイロット200人の内4人が女性。

女性の採用が遅れている産業は若者にも敬遠されがちで、運輸業も例外ではない。柔軟な働き方や業務の機械化を進めるべきだと専門家は言う。



柊(ヒイラギモチ)